

令和4年度 特定健診受診率向上に向けての取組

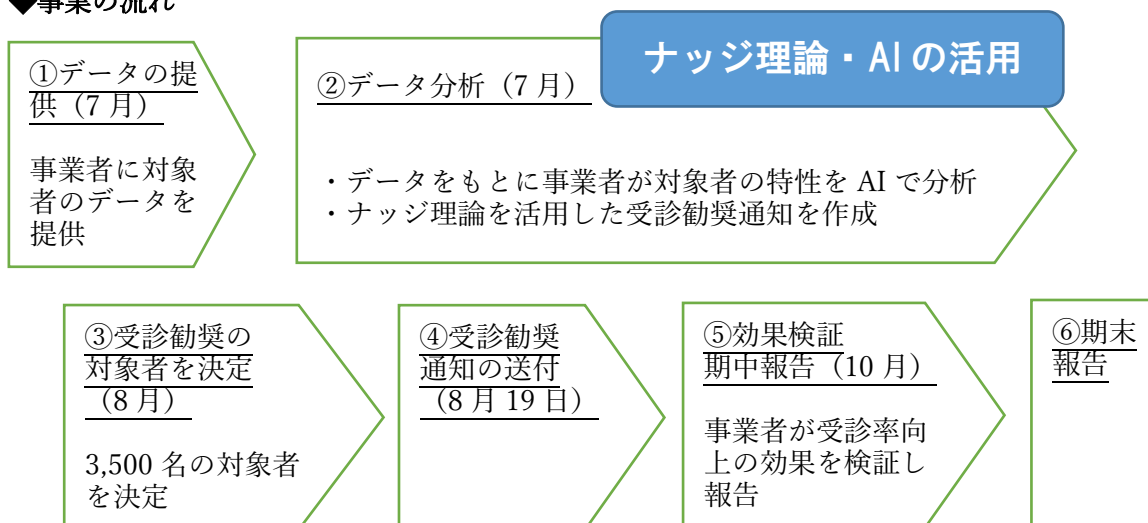
新潟県で実施する「ナッジ理論を活用した未受診者勧奨の効果検証事業」に参加

◆事業内容

「ナッジ理論（行動経済理論）」など、先進の科学的手法を活用し、より効果的な受診勧奨を行うことで、特定健診の受診率向上を図る。未受診者勧奨として、5月～7月の健診を受診していない未受診者を対象に、8月下旬に受診勧奨を実施。

※「ナッジ」とは、直訳すると「ひじで軽く突く」という意味。行動経済学や行動科学分野において、人々が強制によってではなく、自発的に望ましい行動を選択するよう促す仕掛けや手法を示す用語として用いられている。

◆事業の流れ



◆ナッジ理論・人工知能（AI）を活用（委託業者で実施）

- ・年代、性別、受診履歴、通院有無、健診結果値、問診票、歯科受診歴、同世帯受診状況を用いて分析を行う。
- ・過去3年間に特定健診受診歴のある人は、質問項目の回答と心理特性により4つのグループに分類。過去3年間に健診受診歴が無い人は、生活習慣病の通院歴有無と国保加入のタイミングから、3つのグループに分類。
- ・それぞれのグループに、ナッジ理論を活用した特性に合わせたメッセージ（受診勧奨はがき）を送付

健診 受診歴	特性	対象者 分析結果 6,537人	送付数 ※	勸奨パ ターン	
あり	頑張りやさん	運動習慣がある。健康意識が高い。 やり抜く力が強い。	599人 (9.2%)	367人	A
	心配性さん	病気を怖がっている。病気を心配 している。やや神経質。	875人 (13.4%)	602人	B
	甘えん坊さん	今の生活が幸せ。やや太り気味。 サポートが必要。	876人 (13.4%)	604人	C
	面倒くさがりやさん	生活改善意欲なし。健康に興味が 無い。やり抜く力が弱い。	1,095人 (16.8%)	688人	D
なし	生活習慣病関連のレセプト情報なし		898人 (13.7%)	1,239人	E
	生活習慣病関連のレセプト情報あり		1,655人 (25.3%)		
	前年度国保加入者		539人 (8.2%)		

※対象者から、国保喪失者や国保途中加入者（R4,4,2 以降の国保加入者）既受診者等を除き、受診可能性の高い人から 3,500 人に受診勸奨を実施。

◆受診状況 (R4,12,20 現在)

R4 年度	秋の未受診者勸奨実施者	3,500 人
	未受診者勸奨後の受診者数	576 人 (集団：503 人 施設：73 人)
	受診勸奨者の受診率	16.5% (受診勸奨なしの人を除く受診率)
R3 年度	秋の未受診者勸奨実施者	4,946 人
	未受診者勸奨後の受診者数	506 人 (集団：471 人 施設：35 人)
	受診勸奨者の受診率	10.2%

特性・送付パターン	送付数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
頑張りやさん・A	367	93	25.3
心配性さん・B	602	120	19.9
甘えん坊さん・C	604	118	19.5
面倒くさがりやさん・D	688	149	21.7
健診受診歴なし・E	1,239	96	7.7
受診勸奨なし	—	35	—
受診勸奨対象者 合計	3,500	576	16.5%
全体 合計		611	